

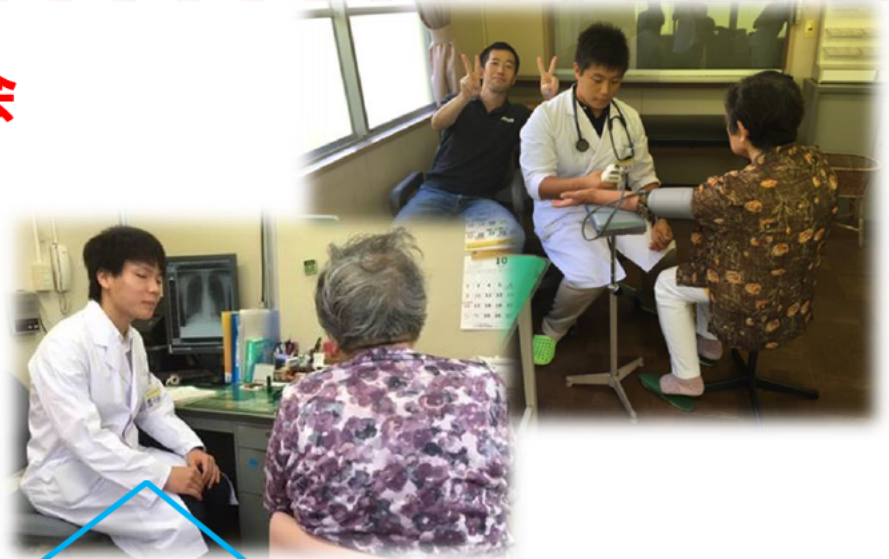
～開催報告～

平成28年度 へき地医療体験実習・研修会

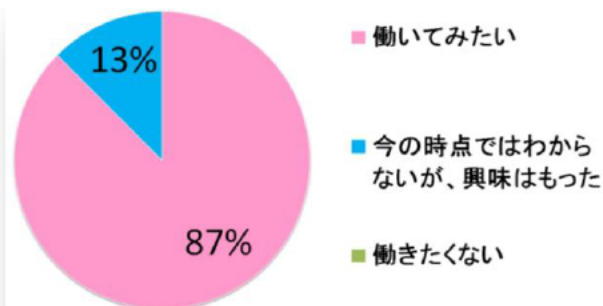
三重県へき地医療体験実習

日時：平成28年8月24日～27日

今年も三重県内の7地域9医療機関（神島診療所、桃取診療所、紀南病院、志摩病院・志摩地域医療福祉センター・長岡診療所、尾鷲総合病院、南伊勢病院、報徳診療所）にご協力いただき、へき地医療に興味を持つ医学生を対象にへき地医療体験実習を開催しました。体験実習には三重大学、自治医科大学、帝京大学の医学生15名が参加しました。



実習を行った医療機関で将来働いてみたいと思いましたが？



実習の感想（一部抜粋）

- ・地域の方々に寄り添った医療が体験できた。
- ・来年も地域を身近に感じることができる実習がいいです。
- ・地域とのつながりが非常に密であたたかく、病院スタッフのみなさんも明るく親切で楽しい方々ばかりだった。

三重県へき地医療研修会 「へき地を感じる、へき地を想う」

日時：平成28年8月27日～28日

へき地医療体験実習に引き続き、大台町宮川林業総合センターにてへき地医療研修会を開催しました。

へき地医療研修会は、平成15年より始まり、毎年へき地医療にかかわる医療関係者、行政関係者、医学生、住民の方の情報発信・交流の場となっております。今年は95名とたくさんの方にご参加いただき、医学生による体験実習報告会、特別講演、ワールドカフェを行いました。

特別講演には、岡山大学大学院地域医療人材育成学講座教授・哲西町診療所所長の佐藤勝先生をお招きし、「地域医療はおもしろい!! “へき地医療にはまっちゃった” ～地域包括ケアからまちづくりへ 地域全体で支え育てる地域医療」という題でエネルギーあふぐ講演をお聞きすることができました。

医学生の体験からへき地を“感じ”、皆様のへき地に対する熱い“想い”をぶつけあったすてきな研修会となりました。

来年度も8月下旬に体験実習・研修会を予定しております。へき地の魅力を感じる実習、研修会を企画いたしますので、皆様のご参加お待ちしております。



※へき地医療体験実習・研修会の詳細はへき地医療支援機構 Web サイトでも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。<http://www.pref.mie.jp/IRYOS/HP/hekiti/>

三重県へき地医療支援機構 専任担当官より

ご挨拶が遅くなりましたが、平成28年4月より専任担当官に着任いたしました野田 真理子（のだ まりこ）と申します。

平成23年に自治医科大学を卒業し、伊勢赤十字病院にて初期研修を行い、紀南病院内科で2年間、桑名東医療センター腎臓内科で1年間勤務し、現在は町立南伊勢病院内科とへき地医療支援機構でお仕事をさせていただいています。

へき地支援機構の仕事は臨床医とは内容が異なりますが、今までとは違った視点でへき地医療、医師確保について取り組み、日々学ばせていただいております。

至らない点等多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



発行日 平成28年11月7日
発行元 三重県へき地医療支援機構
（健康福祉部医療対策局地域医療推進課）
電話 059-224-2326

【三重県へき地医療支援機構】

国のへき地保健医療対策に基づき、平成15年度より三重県健康福祉部に設置されました。へき地での診療経験を有する医師が専任担当官として配置されています。